

肉豚経営安定交付金（豚マルキン）について
【令和元年度第1・2四半期】

平成31年4月から令和元年9月までの算出期間（令和元年度第1・2四半期）における、畜産経営の安定に関する法律（昭和36年法律第183号）第3条第1項に規定する交付金については、肉豚経営安定交付金交付要綱第4の5の（5）の規定により算出した見込みの標準的販売価格及び同規定により算出した見込みの標準的生産費がそれぞれ下記のとおりとなり、前者が後者を上回ったことから、概算払はありません。

なお、今回の算出期間における確定値については、11月上旬に公表する予定です。

記

| 算出期間 | 平成31年4月から令和元年9月まで |
|---------------------------|--------------------|
| 肉豚1頭当たりの見込みの標準的販売価格 | 39,324円/頭 (①) |
| 肉豚1頭当たりの見込みの標準的生産費 | 34,040円/頭 (②) |
| 肉豚1頭当たりの見込みの交付金単価 (参考) | — (①>②のため概算払なし) |

連絡先

畜産経営対策部 養豚経営課
担当：須藤、奈良
電話：03-3583-1150

概算払

肉豚経営安定交付金(概算払)算定基礎 【令和元年度第1・2四半期】

(単位：円/頭)

| | | |
|---------------|-----------------|--------|
| 見込みの標準的販売価格 | (A) | 39,324 |
| 見込みの標準的生産費 | (B) | 34,040 |
| 差額 | (C) = (A) - (B) | 5,284 |
| 見込みの交付金単価(参考) | (A) > (B) | 概算払なし |

注：消費税抜きで算定しています。

(単位：円/頭)

| 区 分 | | 令和元年度第1・2四半期 (平成31年4月～令和元年9月) |
|---------------|---------------|----------------------------------|
| 見込みの標準的販売価格 | (A) = ① + ② | 39,324 |
| 主産物価格 | ① = a × b | 38,506 |
| 平均枝肉価格(円/kg) | a | 504 |
| 平均枝肉重量(kg) | b | 76.4 |
| 副産物価額 | ② | 818 |
| 見込みの標準的生産費 | (B) = ③ + ⑦ | 34,040 |
| 飼料費、労務費その他の費用 | ③ = ④ + ⑤ + ⑥ | 31,896 |
| 飼料費 | ④ | 19,897 |
| 流通飼料費 | | 19,895 |
| 麦類 | | 20 |
| とうもろこし | | 68 |
| 配合飼料 | | 17,924 |
| 脱脂乳・人工乳 | | 1,300 |
| その他 | | 583 |
| 牧草・放牧・採草費 | | 2 |
| その他の費用 | ⑤ | 7,734 |
| 敷料費 | | 100 |
| 光熱水料及び動力費 | | 1,622 |
| その他の諸材料費 | | 50 |
| 獣医師料及び医薬品費 | | 1,959 |
| 賃貸料及び料金 | | 267 |
| 建物費 | | 1,316 |
| 自動車費 | | 240 |
| 農機具費 | | 781 |
| 物件税及び公課諸負担 | | 160 |
| 生産管理費 | | 130 |
| 種付料 | | 132 |
| もと畜費 | | 29 |
| 繁殖めす豚費 | | 751 |
| 種おす豚費 | | 117 |
| 支払利子 | | 69 |
| 支払地代 | | 11 |
| 労務費 | ⑥ | 4,265 |
| 家族 | | 3,423 |
| と畜に係る経費 | ⑦ | 2,144 |
| 参考 自己資本利子 | | 588 |
| 自作地地代 | | 91 |

(参考) 肉豚経営安定交付金(概算払)の算出方法について

1 標準的販売価格(主産物価格と副産物価額の合計)

(1) 主産物価格

農林水産省から取引価格が公表されている 25 市場において格付された豚枝肉(品質が著しく劣るものとして格付されたものを除く。)の平均枝肉価格(円/kg)に平均枝肉重量を乗じて得た額とします。なお、品質が著しく劣るものとして格付されたものには、公益社団法人日本食肉格付協会により「等外」として格付されたものが該当します。

※四半期の最終月分については、農林水産省の統計資料が公表前のため、日々の市況情報等から推計します。

(2) 副産物価額

農林水産省の「肥育豚生産費」の「副産物価額(事故畜、販売された子豚、繁殖雌豚、種雄豚及びきゅう肥)」の額(内臓・原皮代は含まない。)とします。

2 標準的生産費(飼料費、労務費その他の費用、と畜に係る経費の合計)

(1) 飼料費、労務費その他の費用

農林水産省の「肥育豚生産費」の「費用合計(物財費(飼料費、光熱水道費、獣医師料及び医薬品費等)及び労働費)」、「支払利子」及び「支払地代」の額とします。費用合計の費目のうち、農林水産省の「農業物価指数」の調査対象となっている費目については、肥育期間(7か月)の価格に物価修正します。

※四半期の最終月分については、農業物価指数が公表前のため、前月の値を使用します。

(2) と畜に係る経費

25 市場のと畜に係る経費(と畜検査手数料、と畜解体料、と畜場使用料、冷蔵庫保管料(1日分相当)及び格付料)を各市場における並以上の取引成立頭数で加重平均して得た額とします。

※四半期の最終月分については、取引頭数に係る農林水産省の統計資料が公表前のため、前月までの総取引頭数により加重平均します。

3 消費税及び地方消費税の取扱い

標準的販売価格及び標準的生産費の計算に当たって消費税及び地方消費税が含まれている項目については、その消費税及び地方消費税を控除した額を用いるものとします。